

「情報編集力」を育てる問題解決的な授業づくり

映画「バック・トゥ・ザ・フューチャー2」で描かれた時代になりました。公開された平成元年当時は、現実のものになるとはとても考えられなかった世界ですが、我々人類の英知は、それらの中の多くを成し遂げてしまいました。某歌手がハンドルを持たないまま遡行する自動車のCMを見ると、進化し続ける人工知能は、未恐ろしいとさえ感じます。ロボットが次々と開発され、人間がこれまで行ってきた仕事の中で、単純作業だけではなく、高度なコミュニケーション能力を要する仕事までもなくなるのではないかとさえ言われます。

これからの日本が抱えている様々な課題に対し、向き合って生き抜いていかなければならない、今の子どもたち。彼らにつけさせるべき資質や能力は何なのか。

本校は、平成24年度より文部科学省研究開発学校の指定を受け、また、平成25・26年度にはパナソニック教育財団の特別研究していこうとして助成を受けてまいりました。その研究は、新教科「情報科」と「情報編集力」を働かせる各教科等の学習指導についてでした。本校では、この研究を受けて、これからの時代を生き抜いていく子どもたちが身に付けるべき力こそ、各教科等で働かせる「情報編集力」であると考えました。本校の研究は、次期学習指導要領の改訂に向けて議論されている内容を見据えた、実践的な研究であると考えております。本校の研究の成果の一端をご覧いただきたいと存じます。

本書の刊行に際しまして、東北大学大学院教授 堀田龍也先生をはじめ、多くの先生方に貴重なご指導及びご尽力を賜りました。また明治図書の木山様には格段のご高配を賜りました。厚くお礼を申し上げます。本書が、皆様の教育実践の一助になれば幸いに存じます。

平成28年2月

福岡教育大学附属久留米小学校

校長 和田 圭壮